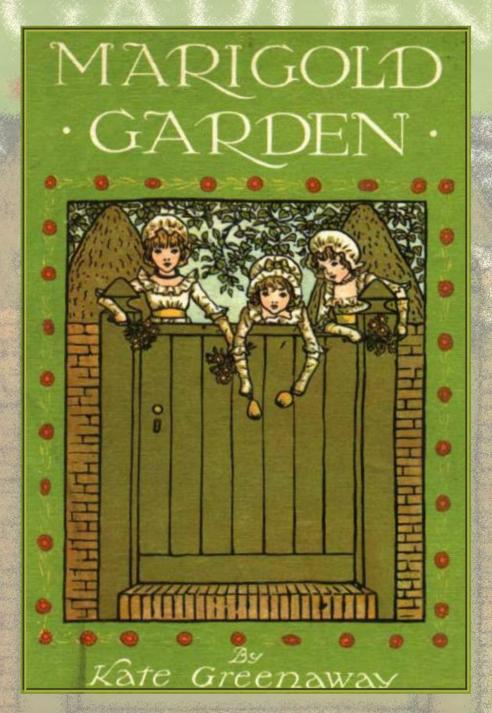
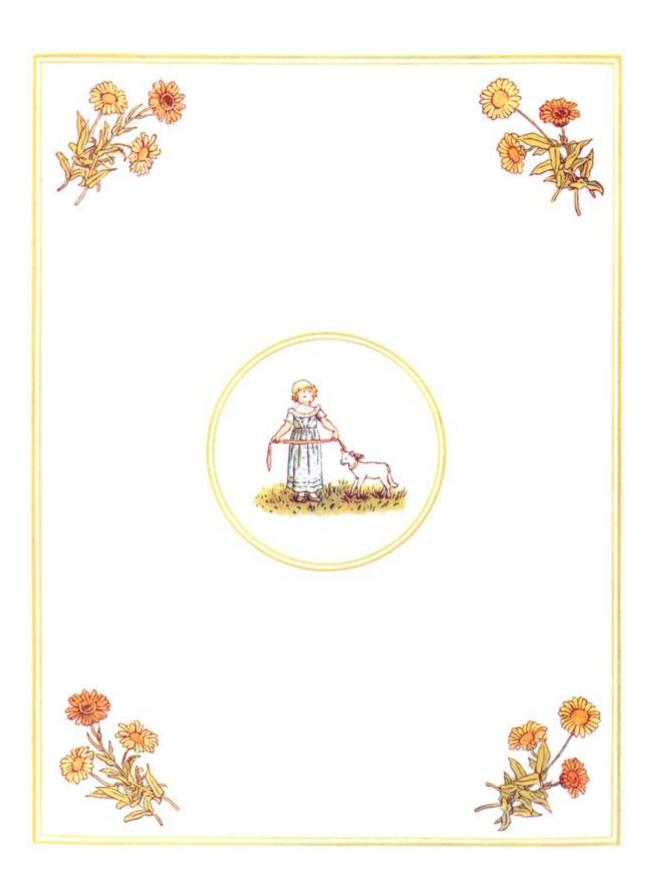
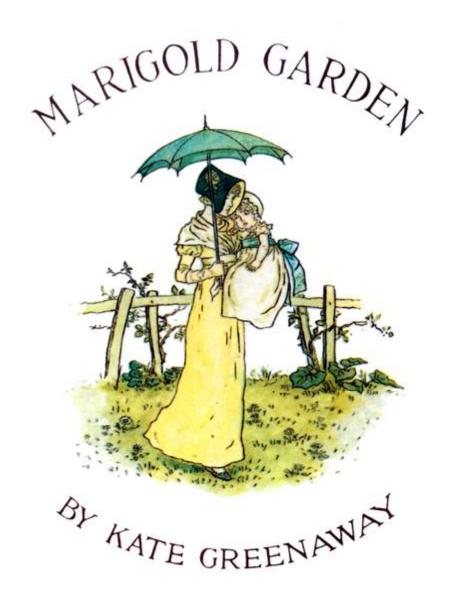
マリゴールド・ガーデン



ケイト・グリーナウェイ ぶん・え おおくぼ ゆう やく



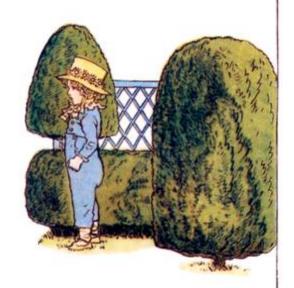


『マリゴールド・ガーデン』

ケイト・グリーナウェイ ぶん・え エドマンド・エヴァンズ有限会社 いんさつ おおくぼ ゆう やく







MARIGOLD GARDEN

Pictures and Rhymes
by
KATE GREENAWAY



London
FREDERICK WARNE & CO LTP
& New York

"おんなのこ"

"おとこのこ"

くりくり おめめで

やわらか おかおの ——

この ふたつの ことばに

わたくし うやうやしく

このほんを ささげます





スーザン・ブルー

やあ スーザン・ブルー ごきげんよう。
 ごいっしょに さんぽでも。
 いずこへ まいりましょうか、
そうですね ―― プリムラの さく のはらは いかが?



みずいろの くつ

みずいろの ちっちゃな くつでは あんまり とおくに いけなくて。 けっつまづくか まいごに なるかで。 ねえ ―― ママは いったい なんて いうのかな? その ちいさな おててを しっかりものの おねえちゃんに あずけること。 ちょっと おおきくなったなら みずいろ おくつでも ひとりで おでかけできるかも。







- 10 -







ひとつやねの おどりこたち

このちいさな おどりこたちを さあ あなたに ごしょうかい。 あさも ひるも よるも ずっと たのしく おどりまわっております。

くるくる そこらを まわって つまさきを そとに むけて ひとも このおおさわぎを なんだと おおもいになるようで。

おどりは あさも はやくから そして よふけ さふけまで。 うちの なかでも そとでも うかれっぱなしなのであります。

K.C

いたるところ あちこちの くにの ありとある おどりを あやつる。 ですから ひがな おどったとて なんの ふしぎも ございません。

さあ おどる おどる おどる はれのひも あめのひも おもいきや それ また はじまるわけでございます。





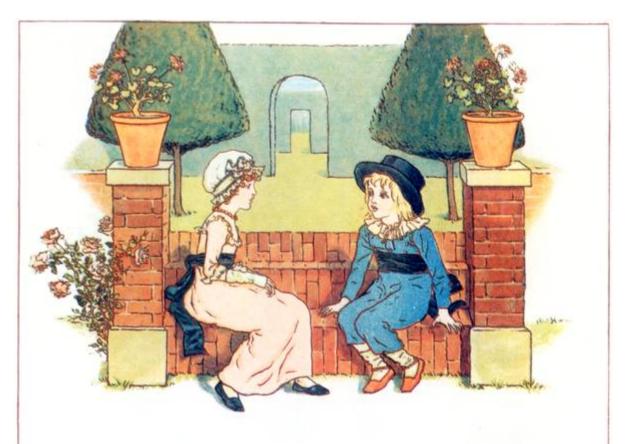
おばあさまに あいに

モーリーちゃんと デイモンくん きょうは とおくまで おでかけ。 やさしい おばあさまに あいにいく。

おうちに ついたら とだなから おいしい おかしを だしてくれる それが いつもの きまった ながれ。 つれってっていい? って きく。

それから にわへ とびだし アカスグリを つんでまわって おおはしゃぎも いつもどおり。

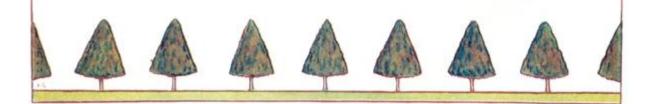
で デイモンくんが わんこに 「ひさしぶり」って こえかけて



ねがい

ねえ もし きみが おとこのこで ぼくが おんなのこだったら —— たぶん きみは おひげを はやして ぼくは あたまを まきがみに する。

そうだ ぼくに おひげが はえたらきみは まきがみに してよね。だって どんなに ねがったって ――おとこのこは おんなのこに なれないし。





きたひとから

ほおら きょうは パーティ みんな いちれつに すわって のこりの ひとを まちながら はじまるのを たのしみにしてる。

さあて ベルが りんと なると おちゃがしは なにが くるかな。 おともだちが ぞくぞく とうじょう。 こうして みんな すこしずつ きんちょうも ときほぐれていく。 とても うきうきしてくる わけで。

まつのは ちょっと つらい ちこくよりは はやめが いいけど ぼーっと してると かなしくて。 でも おちゃが くると ふきとぶ。

ジャムは いちごだと いいな。 ダンスと ゲームは なにかな。

みんな たのしんでくれますように。 おちゃも きにいってくれますように。



おばあさまと おでかけ

おばあさまと おでかけするさい ふたりで さゆうを はさんで ママが うやまいなさいって。 わらわずに ふらふらせずに。 でも おもてを あるくだけで こんな きまじめに ならなくても。 トムは おばあさまの かさ。

あたしは スパニエルを かかえて



うたったり おしゃべりしたら はしたないって いってさ 「わかいころの わたしは あるきかたの おてほんでね。」

おとこのこも おんなのこも うるさくなんか しなくって って 「なのに いまは こどもの もう そればっかり いうの。

あそぼうなんて おもいも しなかった ―― んだって! おさいほうを おぼえたり よみかきを まなんだり。

むかしは ほんとに よかった ごはんのときは ひいおばあさまから しずかに させられたって。 したも くるくる まわって。

> はやくちに ぺちゃくちゃ ぺちゃくちゃ どうか よく おききなさい きょうの ことから べんきょうして りっぱな すがたを おみせなさい。」





いちばから



はなたばを くださるのは だあれ?
バラの はなわを はなやかに
あたまに かけてくださる おかた。
だって わたくしたち きょう ここへ
すてきな ねがいを とどけにきたんだもの。
いちばから いちばから いちばから





フィリスちゃん

あたし ちいさな おんなのこ こねこちゃん ひろったけど たぶん 2さいに なったばかり おなまえ ききたいんなら いってあげても よろしくてよ。

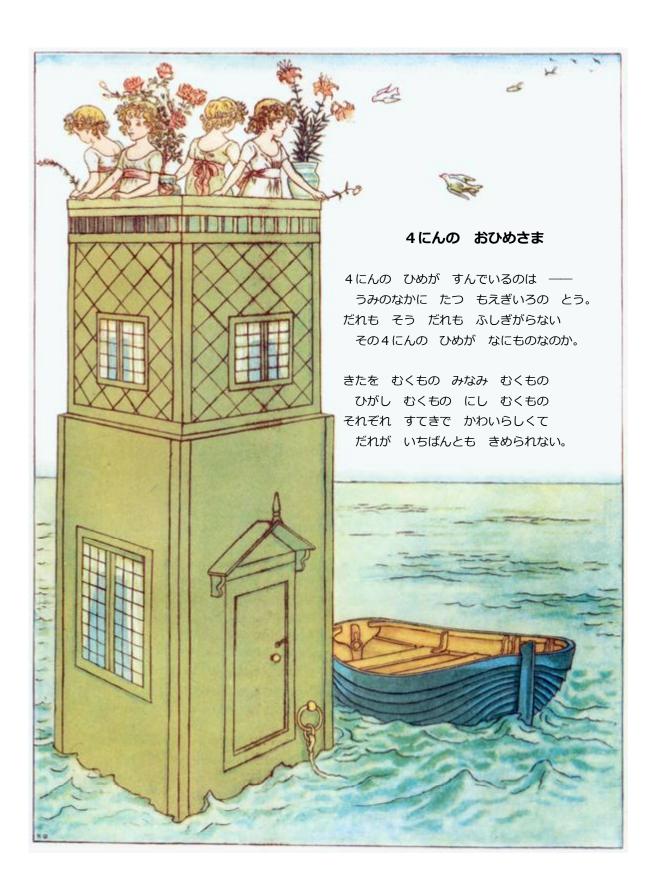
みんな あかちゃんって よぶけど で おにんぎょう もらったの。 フィリスって なまえなんだから。 だれが くれたんでも ないから たぶん かってに できたもの。

すてきな チューリップ つんだの。 ほしいなら あげてもよろしくてよ。 あかの しまのある きいろね。

これはあげないんだから。 このこ あたしと あそびたいの。 きょうは ねちゃったけど。

その つれてきてあげよっか? すてきな くつ はいててね おぼうしに あおの リボン。

じぶんの ちっちゃな かだんから おうちに もってかえりたい? だあめ ぜったいに だあめ。 さよなら あたし はしってくから あんたは ゆっくり あるくこと。



こがねいろの まきがみ ―― あおの ひとみ その こわねは ぎんの すずのように ここちよく 4わの しろい とりが あたりを とびまわる だが どこから きたのか ―― だれが わかる?

そう だれが わかる? しるものとて ないことばを しゃべるのを きいたものも ない。ただ その うたごえは かねの ねのごとくひびきわかるが ままに ここちよく たゆたう。

なぜなれば たいようの もと ほしぞらの した ときに ふねで はるかな うみへ こぎいでる。 そして もえぎの とう バラの へやへ もどり いきると いうのだ ―― まったくの ふしぎ。







りんごの きのうえ

9がつ りんごの きも あかくなるころ あたし ベリンダに きいてみたの。
「おそらに いっちゃうか それとも このまま ずっと ここ くだものばたけに いるか どっちがいい?」 そのこたえ。
「できれば ここに いたい ―― おそらなんて いったこと ないし それに ここなら おはなも さくし。」





ロンドンの おんなのこ

つつましい みどりの わがや いるだけで しあわせ おひさまも ぽかぽかと おそらで かがやいていてもう いなかって すてきで だいすきなの ―― そんなとこが あるのに なんで ロンドンに すむの?

ロンドンの あるまちに すむ わたしの ねがいは ひがな かぐわしい おはなに つつまれること そらに そびえる えんとつなんかじゃ なくって。 とりさんや とんぼの とぶさまを みれたらなあ。 おうちの ベッドに ねそべっても ねむれない おもてを がたごと はしる ばしゃのせいだ でも ここで めを とじると しずかに なって きこえるのは ただ ナイチンゲールの うたごえ。

それから あるいてくる にわとりと がちょう おしゃべりしてる ぶたと あひるも みえてきて。 あかげと まだらの うしが こっちを にらんで まさか なにやつだって おもわれてるのかな。

こひつじは ママに よりそってるし ―― まっしろ かわいい おとこのこ おんなのこ。 ああ いなかで ひなぎくの はなわ つくりたい ロンドンになんか もう もどりたくないよお。





あかちゃんへ

その あおい おめめの みるもの なあに?
きょうは かわいい がーがーちゃんかな?
それとも いちいのきの くじゃくさん?
じゃれあう まっしろ こひつじちゃん?
ねえ おしえて
だって もう こんなに いとおしいんだもの
こんなに かわいくて ちっちゃいんだもの。
でも いまも どんどん おおきくなってるから
あともうすぐで 1さいの おんなのこ。



ウィリー おねえさんに きく。 どっさり こむぎの やまが 「いっしょに いっても いい?」 こたえ。「ちゃんと おぎょうぎよく そこで あそばせてくれるんだ してるんならね。 いいこと?」

「そしたら かざぐるまを みに つれてってくれる?! こたえ。 「ええ とっても とっても いいこだから ―― きっとね。」

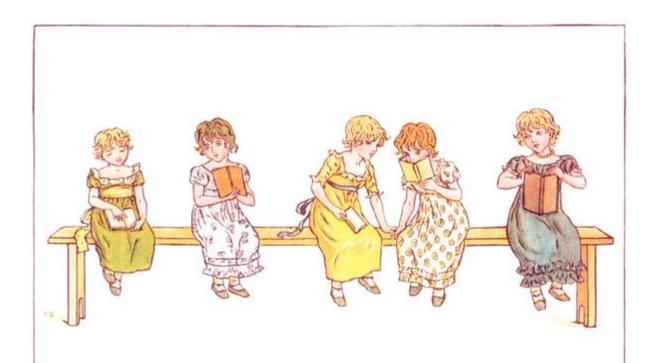
「あそこの おじさん とっても やさしくてね あたま まっしろで ひいた こむぎこを あたまの あっちこっち ふりかけたみたい。

ゆかに つんであってね ぜったい まちがいない。

ぐるぐるって なって ぎりぎり おおきな おと あれ すき。 みてると おみずも すごくて くるん ばしゃん くるばしゃん。

だから かざぐるまの たてもの つれてってね だって ぼく ほんとに ぜったい いいこに いいこに してるからさあ。」





がっこうで

おんなのこが 5 にん ひとつの いすに すわってる。 ぶんを おぼえて そらで いわなきゃいけなくて ところが ざんねん じゅんばんが きても みんな ちっとも あたまに はいってなくって。

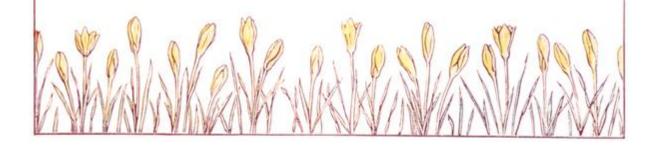
だって ちいさな おめめの みてるさきは てもとの ほんとは ぜんぜん ちがうとこ みんなの ちっちゃな きもちも どこかで まいごに なってて ―― いつも あさって。

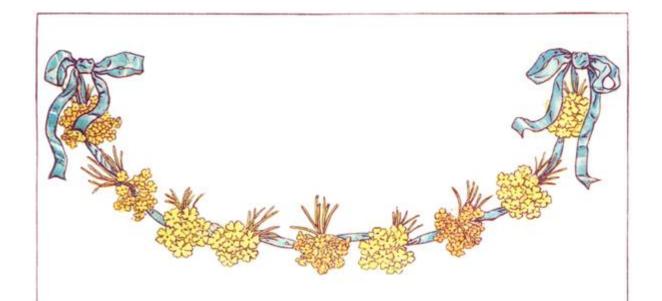


しあわせな まいにち

「らいしゅう フィリスと フィービに あいにいらして。 げつようで フィリスは ちょうど 14に なるの。 みんなで にわで おちゃするって きかなくって。 そのあとは しばふのうえで たのしく あそぶって。

あたし あそびぎ あたらしくしたいのに ママは 『ダメ』って ほら いつもの おふるで がまんよ。 でもまあ しろも すてきだし マチルダおばさんも きれいな ネックレス くださるって いうし。」





「まあ もちろん いく いく ペギーも つれてく。 それと ママが あたしたちの あそびぎ こしらえてて あかい おびを して ぼうしに ももいろ リボン だから そのひは おんなのこ みんな おしゃれさんよ。

あと みんな ひとつずつ はなたばを てにとって --- おっきいのよ --- で フィリスに いうの みんな あなたが だいすきって おしあわせにって かぐわしい おはなを おたんじょうびに わたすのよ。

すてきでしょう? きれいな おひさまの したで おおきな りんごのきのもと テーブルを ひろげて きっと フィリスちゃんも みんなの フィリスちゃんも にっこりしながら おちゃを そそいでくれる!」



おさない クイーンの おでまし

バラ ― まっかな バラを みんなで うえから ふらせて ユリを ― まっしろな ユリを あしもとへ おさない クイーンの おでましで ひとが おおぜい はしってく てを ふろうと ひとめ みようと。

ようこそと おおごえ だして あちこち すずが ならされる おむかえして よろこんで いただくのだと あおい ひとみは きらきらと きんの まきがみ あざやかに うたごえが まちに ひびきわたる。



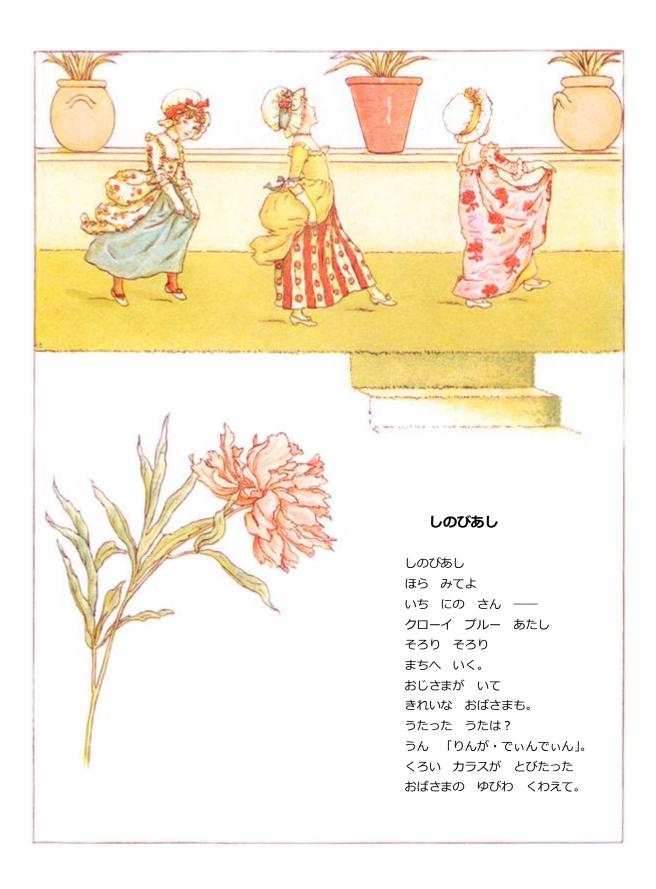
まちを かこむ へいのうえ

ぴょん ぴょこりんと まちへ むかう まちを かこむ へいのうえを すすむ ほしぞらに おつきさまに はなしかける? それとも ばんごはんに いそいで かえる?



まちを かこむ へいのうえ

たかい たかい へいの てっぺん すすむ おそらの そば うん おひさまの そば こぜに 1まい くれたら 2まい あげる だって おとなりさんは そうするものでしょ





ママと あかちゃん

「うちの ポリー とっても いいこ ベリンダちゃん しずかなのね うちのこ すぐ ねちゃうのよ ほら いまも めを とじてる。

ねえ レモンの おくさま おしえて そのこ いつ がっこう いくの? なんじに ベッドへ いかせるの?」 「えっと 8じの きまりなの。

でも ときどき ほんの ごほうびで ちょっとだけ あとにしてあげるの。 なっとく いかないでしょうけど。 ほら あかちゃんの えがお みて!」



「プリムローズの おくさま らいしゅうの いつか おちゃに いらっしゃらない? もちろん ロザリンダと そのこ ローザリーを つれてきてね。」

「カウスリップの おくさま ありがとう うちの こたちも そりゃもう とても おおよろこびで いくと おもうわ。 ああ ―― でも こまったわね。

ほら ごぞんじ? はつみみかしら。 あのこ とっても こわがりだし うちの デイジー はしかに かかって もう まいばん つきっきりなのよ。

それから ずっと しんぱいなのが クラリッサが ひきつけを おこして おいしゃさまも どういうわけか ちっとも わからないって いうの。」





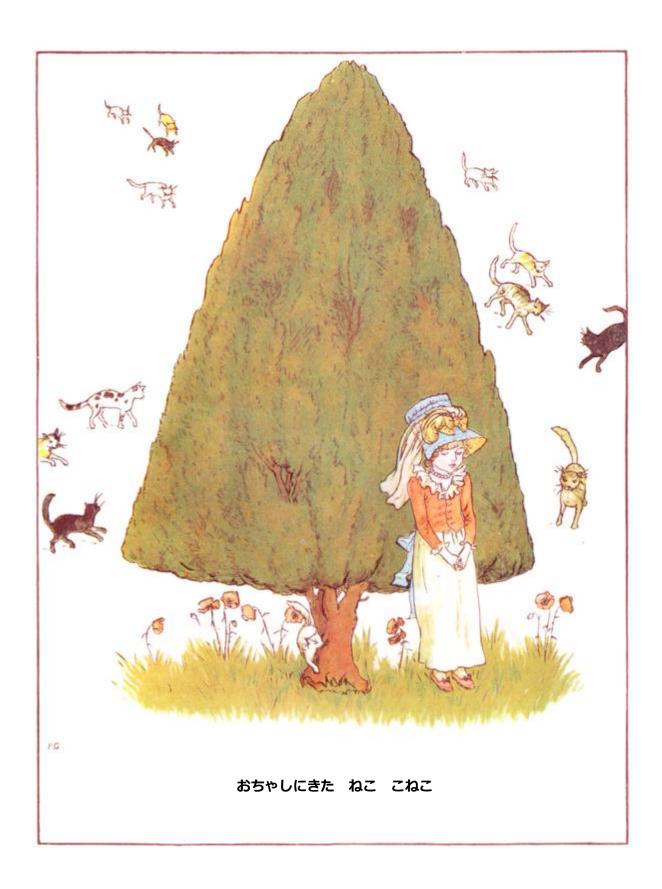


いとしの おじょうちゃん

おじょうちゃん ものほしげな その ちっちゃな ようせいさんが あおい ひとみに うつるのは なに? うん たかいところに のぼって とおい おそらの みつめていたいのね。 のぼるところを ながめたいの?

おめめのなかを とんでるの? それとも きいろい おつきさまが

まさか いま きこえたみたいに ことりさんを さがしているの? とんできて こえだに やどって なつを うたいあかすんだよね。



きに もたれてた おんなのこ みたもの なあに? うちを だしてもらった ねこたちが そう おちゃを しにきた ねこ こねこ。 なきながら ひょこひょこ ここへ。

すてきな おあつまり あちこちから

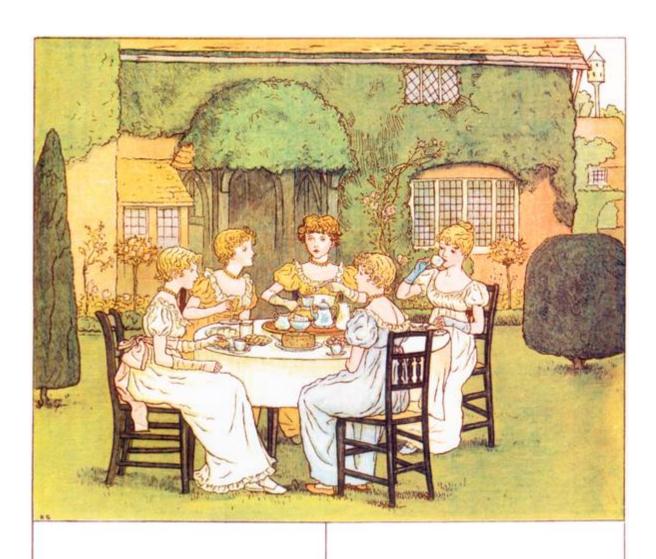
「にゃあ にゃあ」と おっしゃって 「きょうも ちゃんと あえると いいな。」

さて どうする -- どうしよう? ミルクは いくら あっても たりないよ。 トーストが すきか きらいかなんて だって みんなで「にゃあにゃあにゃあ。」 こねずみなら すきだろうけど ど。

わからない ―― ああ わからない

あーあ ― あーああーあ ねこ こねこが おちゃしにきたのに。





おちゃかい

きもちのいい みどりの にわで みんなで おちゃを したんです。
「おさとうは?」 とか
「ミルクは どう?」 とか。
あのかたは おろしたての きぬの おしゃれな ドレスを おめしで。
もう みんな たのしくって もう たのしすぎるくらいで。
あの まぶしい なつのひに あのかた おちゃかい ひらいたの。





バラの アーチを くぐって

バラの アーチを くぐって バラの まちへ バラと ユリを よれ ひねれ ―― おかのうえの バラのまちへ なつかぜ さわやか すてきな しらべ そして バイオリンの ねが ひびくゆえ。 バラと ユリを よれ ひねれ

ああ バラこそ そのこの じゅうたんだ バラと ユリを よれ ひねれ バラの カーテンも また すばらしい バラの かんむり したから ながく きんの まきがみ ふわり ながれる。 バラと ユリを よれ ひねれ

はっぱは みどり クイーンに ふさわし

すずは みな なり だれしも うたう



..

いつも ひとに ふかぶか おれい

おもちゃも なげちらかさず わるいことは ちがうのです。 みんな やるべきときには いつも ちゃんと おべんきょう おさらも きれいに する —— とっても いいこたちです。

あそびぎも やぶけなければ えりも いつも ぴかぴか。 かみのけも とても こぎれい いつでも はずかしくない。

それに ママにも ちゃんと きくし かなりの しっかりもので おもてで ひとに であっても きちんと あいさつするのです。

そのこたちは どこからみても りそうの こども そのもので。 おてんほんなのも もっともだ ちいさな きみにも ― わたしにも。

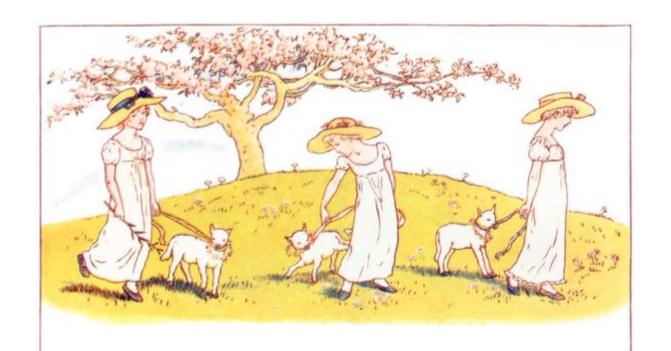




たかい たかい

たかい たかい きよりも たかい たかい たかい はなより たかい たかい おひさまよりも たかい たかい くもより たかい

たかい たかい りくより たかい たかい たかい うみより たかい それに ママだって むかしは こんなに かわいかったのよ ね!



おんなのこと ひつじのこ

ときは 5月 はなの さくころ おんなのこが のはらに でる。 ひつじのこが はしゃぎまわって よるになれば くさむらで ねる。 ことりが ひがな うたってて もう あんなに たのしく! おひるは おひさま ぴかぴか よるには おほしさま きらきら。 プリムラが サクラソウに いうの。 「はるの そよかぜ さわやかね!」 ヒナギクと キンポウゲが かおを あげると きまって うた うたう。 だって すんだ あおぞらの した めのまえで ちょうちょが ひらひら。 ちょうちょも めを したに むけて いうの。 「おはなの まち すてき!」







ふしぎの くにから

きみは ふしぎの くにから きたんだねだって おめめに ふしぎが やどってる。おほしさまは おそらの くにの まどときどき きみは のぞきこんでるね。ねえ おじょうちゃん おしえてくれない?おはなさん ひとりきりの きみをみつけて ひみつを きかせてくれるの?とりさん ちょうちょさん みしらぬぼくらにも なにか ささやいてくれるの?

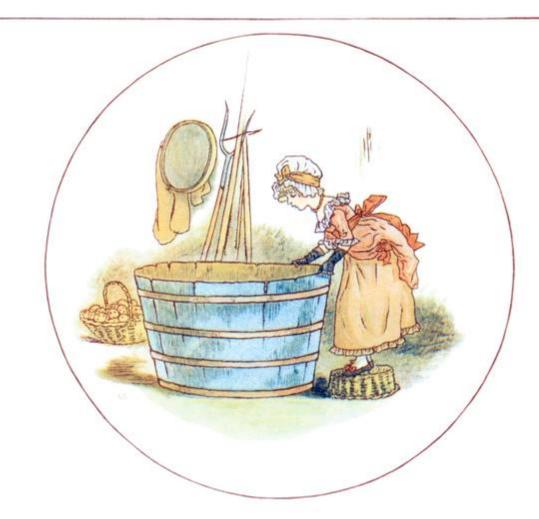
ぼくらには ただの そよかぜの ためいきでも きみには はなしかける てんしの こえなの? ぼくらには ただ とおりすぎる しろい くもでも きみには おだやかな しずくを こぼしてくれるの?



こどもの うた

おうと きさきが なつのひに うまに のって おでかけしたよ。 おそらを とぶ クロツグミが おしゃべり そばで ぬすみぎき。

おうさま りんごが すきだとか おきさき なしが すきだとか。 こっそり きいてる クロツグミに なにを すれば いいのかな。



モーリーおじょうさまと こざかなたち

ああ うるわしの モーリーおじょうさまだいすきな すいそうの おさかなさまたちきっと おさかなさまも その つぶらなおめめで じっと みつめてもらえてうれしく おもっておりますよ。それから おてての ゆびから ゆっくりとしろい そのパンこを おとせば もっと およろこびに。ただし おじょうさま やりすぎだけは ごちゅういを。それでは おこころある おじょうさまそのものたちを もとの かわへ かえしましょう。

ぴょんと はねる おんなのこたち



ぴょん ぴょん ぴょん はねていく まちから まちへと いちにち かけて。

ぴょん ぴょん ぴょん とびこえる そらの おつきさまを あさひる かけて。 ぴょん ぴょん ぴょん ひとばんじゅう ママたち なんか こわがってない?

ぴょん ぴょん ぴょん うみ こえて びっくりするもの めに してみたい。 ぴょん ぴょん ぴょん みのがすよ いけない ものごと みつけても。

ぴょん ぴょん ぴょん とおくまで いつの ひにかは みんなで かえる。



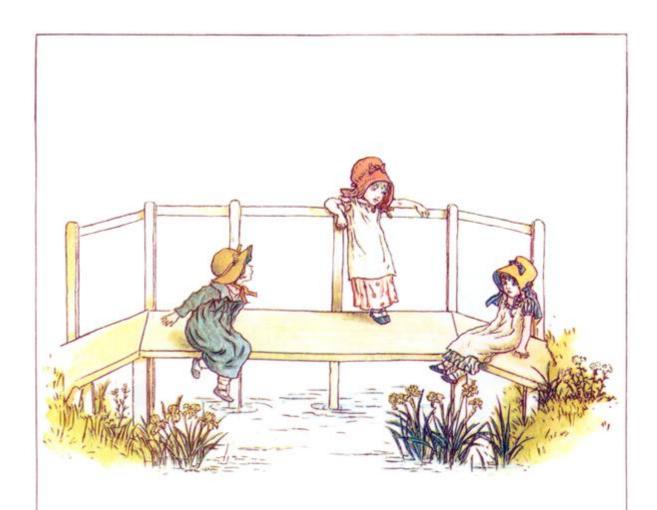
わになって

おとこのが わになって おんなのこも わになって ぐるぐる ― ぐるぐる まーきまき



きみたち なんだか たのしそう みんな おやまに すんでてね、 「もちろんさ!」 きみたち どこから きたの? 「とおくは ないよ。

きのうえが おうちなんだ。 じつは ぼくだけ かわどこ ぜったい つかまんないよ!」



はしの うえ

それが ぼくの いまの ねがい! くりくり おめめを いつも ぱちくりさせるの みたいんだ。

あわぎの あやめに すわらないかな。

こざかな みえるといいな ―― いまから ぼく いしを ひろいなげて すてきな みずのわ みようと おもう。 それとも みんなで おはなの こぶね ふわふわ うかぶの ながめてみる?

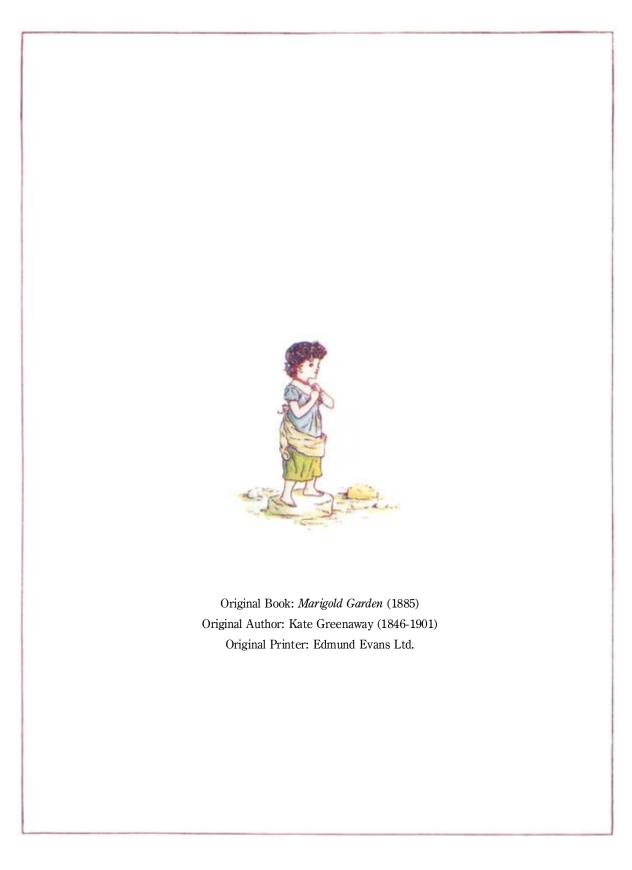
ビーバーが かわを ゆっくり それいいね ― いったい どこまでむこうへ わたったりしないかな。 いくのか たしかめてみたいしさ。 こおどり くもさんが ちょこんと で あしたに なったら ほら ―― こぶねも おおぶなばらへ でてるかも。



ボール

いち に — はい あなた いち に さん — はい あたし なげるんなら きつくしてよね おとしちゃうとか きにせずに。 きらきら おめめに
きらきら こむぎはだ
こがねいろの まきがみちゃん
うつむいてるね。
「さよなら」 いうよ ――
かなしくないよ ――
またそのうち みんなで
たのしく あうひまで!





マリゴールド・ガーデン

http://p.booklog.jp/book/36612

自作 PDF 版 2011 年 11 月 29 日 第 1 版発行 2012 年 6 月 14 日 微修正

> 作者:ケイト・グリーナウェイ 訳者:大久保ゆう

訳者 twitter:@bsbakery 訳者サイト:http://www.alz.jp/221b/

発行:ALZ 発行元情報:http://p.booklog.jp/users/alz/profile

※この翻訳は「クリエイティブ・コモンズ 表示 2.1 日本 ライセンス」 (http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/) によって公開されています。 上記のライセンスに従って、訳者に断りなく自由に利用・複製・再配布することができます。

> 感想はこちらのコメントへ http://p.booklog.jp/book/36612

ブクログのパブー本棚へ入れる http://booklog.jp/puboo/book/36612

電子書籍プラットフォーム:ブクログのパブー (http://p.booklog.jp/) 運営会社:株式会社 paperboy&co.

k C



